伊達市「ノーリフティング」宣言

～すべての市民が、安全で無理のない働き方と暮らしを実現するまちを目指して～

近年、医療・介護・福祉の現場をはじめ、さまざまな職場において、心身への負担が重なり、働き続けることが難しくなる状況が見られます。
こうした状況の中で、伊達市はノーリフティングの考え方の普及に取り組みます。

ノーリフティングとは、単に「持ち上げない」ことではなく、心身に無理な負担をかけず、安全で安心して働ける環境をつくるための考え方です。

そこには、心身に無理な負担を生じさせないために、日々の業務の中で生まれる小さな気づきを共有し、組織全体で考え、学び、改善を続けていく姿勢が含まれます。

こうした姿勢に基づく取組は、働く人の健康と安全を守るとともに、ケアを行う人と受ける人、双方の安全と尊厳を守ることにつながります。

また、その考え方は、医療・介護・福祉の職場にとどまらず、あらゆる業種や私たちの日常生活にも通じる、安心して無理なく過ごすための基本となるものです。

伊達市は、市内の事業所や関係者の皆さまと連携し、ノーリフティングの考え方に基づく取組を進めることで、誰もが健やかに働き、暮らし続けられるまちづくりを推進していくことを、ここに宣言します。

令和８年２月27日

伊達市長　堀井敬太